

福井県水産バリューチェーン改善協議会

■取組の背景

- 福井県の漁業は小規模な沿岸漁業が主流であり高齢化や環境変動により県内の漁獲量が減少
- 少量生産のための獲得は難しく高品質化とブランド化による魚価向上・高付加価値化に着手
- 福井県を代表する天然魚および生産拡大が見込める養殖魚について地域ブランドを創出

■取組の目的

- 協議会を構成し県産ブランド魚の認知度向上に向けた県内関係者の連携を推進
- 生産者と流通業者、販売業者等を電子システムでつなぎブランド魚の供給体制を構築
- 関東圏をはじめとする大消費地で県産水産物の試食会を開催しマーケティング調査を実施

■協議会の構成員と役割

	段階	名称	役割
事業実施者	生産	福井県漁業協同組合連合会	・事業とりまとめ ・県内生産者、養殖業者、流通関係者の連携推進
	流通	株式会社鷹巣定置	・活魚流通に関する取組全般 ・定置網漁業を通じた県産魚介類の生産・出荷
	流通	福井中央魚市株式会社	・県内水産物の調達、保管、流通、出荷 ・県産水産物の受発注アプリの開発
	加工販売	ふくい鮮いちば実行委員会	・北陸新幹線停車駅を活用した県産魚介類のPR ・ポップアップストアの運営と販促活動全般
	取組支援	福井県・敦賀市・福井市	・取組全般における支援、関係者の連携支援

■取組内容

◆福井県産水産物のブランド化推進

- 天然魚のブランド化>県内で漁獲されるアカアマダイおよびアカガレイについて一定の基準を設けて「若狭ぐじ」、「越前がれい」としてブランド化。生食用出荷による需要獲得を目指しブランド化
- 養殖魚のブランド化>「敦賀真鯛(マダイ)および若狭ふぐ(トラフグ)等、生産拡大の見込める養殖魚については需要拡大に向けて品質の見える化を推進。他産地の養殖魚との差別化を推進

◆受発注アプリの構築による流通体制の強化

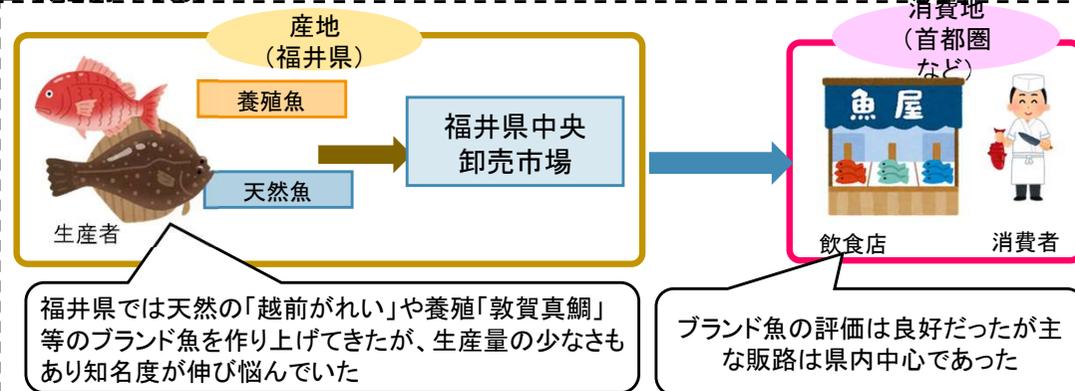
- 出荷する福井県産水産物の高品質化>天然ブランド魚について県漁連が活締め・神経締め等を施す「極」の出荷量を増やし、福井市中央魚市場に集荷することで販売業者や飲食店の需要に応じて安定供給を図る
- 県産魚介類の受発注アプリの開発・運用>県産ブランド養殖魚について活魚車の導入により活魚での安定供給を図るとともに生産情報や在庫状況を関連付けた受発注アプリを整備しスムーズな受発注を実現
- アプリを活用した連携体制の構築>発注アプリを活用し生産・流通状況が見える化するとともに、アプリの機能を用いて販売業者や飲食店からの意見を生産者にフィードバックすることで連携体制を構築

◆福井県産ブランド魚の認知度向上によるブランド力の強化

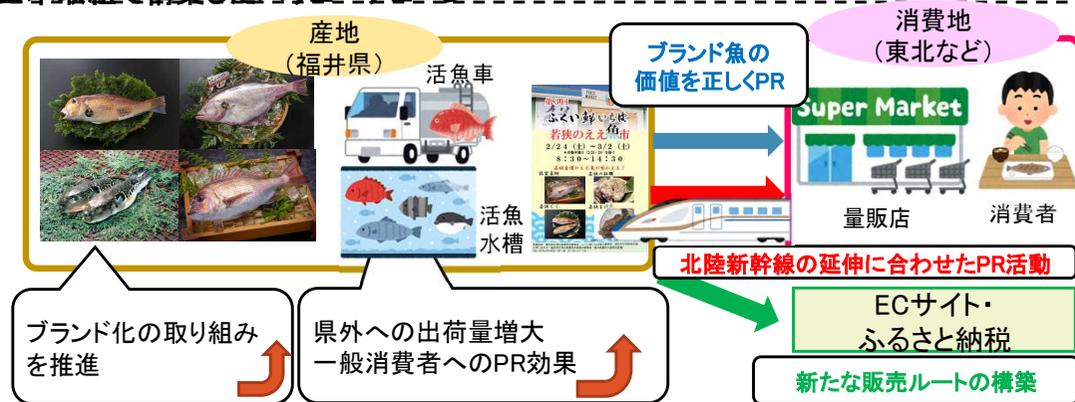
- 北陸新幹線の開通に合わせた各種販促活動の推進>2024年3月に延伸予定の北陸新幹線開通後のインバウンド需要を見込み、東京駅ほか新幹線停車駅におけるプロモーション活動や試食会等のイベントを企画
- ポップアップストアの出店によるブランド魚のPR>北陸新幹線が停車する消費地(東京、軽井沢、福井芦原温泉)においてポップアップストア「FUKUI BRAND FISHサシミバー」を出店しインバウンド客や一般消費者を対象としたブランド魚のPRと試験販売を実施

福井県産水産物のブランド化と販路開拓

■取組前の状況



■本取組で構築したバリューチェーン



■取組の現状と今後の展望

- 取組の核となる活魚車および活魚水槽、受発注アプリは令和6年3月に導入完了。次年度より活用
- 北陸新幹線の延伸に向けて各種イベントを企画・実行。延伸後に新駅を活用したイベントを企画
- 福井県産ブランド魚の知名度および販路は順調に拡大中。今後は首都圏も視野に入れたPRを実施

★本取組によって得られたバリュー★

付加価値向上

県産水産物のブランド化による付加価値向上

ITの活用

受発注・情報共有アプリの活用による流通効率化

販路開拓

新幹線の延伸を活用したブランド魚の販路開拓